

公益社団法人石川勤労者医療協会

2021年度法人事業報告

(2022年6月26日 第71期定時法人総会で承認)

I、はじめに

- ・2021年度事業計画では、2つの重点課題を掲げました。
- ・第1は「職員や入院患者・介護施設入居者で陽性者が発生しても、濃厚接触者を出さない、クラスターを発生させない」です。第5波までは基本的にこの課題は実行できましたが、2022年1月以降の第6波では、それまでとは異なる変異株の爆発的な感染拡大となり、業務を通じて、あるいは家庭内での濃厚接触者の発生がありました。
- ・第2は「経営改善をやりとげ、債務超過を中長期計画の下で解消する」です。2021年度決算については、決算報告（第2号議案）をご覧ください。

II 2021年度の事業の到達

1) 事業目的を担うにふさわしい法人運営の改善

- ・理事会は従来の毎月開催から年8回開催とし、法人の年間計画に沿った運営に変更しました。
- ・法人会員は、目標を200名とし、地域の方々を中心に会員入会を進めましたが、新規入会6名の計176名に留まりました。

2) 無差別平等の医療・介護の推進

- ・友の会とともに、コロナ禍から命とくらしを守る活動を進めました。コロナ陽性疑い患者の入院受け入れ、発熱外来、コロナワクチン接種などの取り組みを通じ、地域住民との新たな接点が強まりました。各地域の友の会は、接種相談の呼びかけ、会場送迎など友の会らしい活動を行いました。
- ・無料低額診療事業は、法人全体としての利用率10%の回復を目指しました。2021年度は9.94%になりました（19年度は9.0%、20年度は9.93%）。無料低額診療利用者の増加は、コロナ禍の影響とともに私たち自身の地域活動の強化の反映でもあります。城北病院では病院外壁に「無料低額診療事業」の懸垂幕を掲げました。
- ・ヘルスプロモーションの取り組みでは、石川県健康友の会とともに地域での健康づくり活動や、各事業所での、患者・利用者、職員に対する健康づくり活動に取り組んできました。「いしかわまるごと健康チャレンジは、県内10市教育委員会

の後援も受け、自治体職員から地域住民への呼びかけも広がりました。参加者総数は3343名となりました。

- ・看護小規模多機能事業所開設に向け、既存建物の活用案の検討とその経営シミュレーションを行いました。それ以上には進みませんでした。
- ・2021年7月から常勤歯科医師を迎えた城北歯科は、複数常勤医師体制に向けた努力を城北歯科を中心に進めました。その結果、新たな常勤医師の迎えることができ、2022年6月から複数常勤歯科医師体制が実現します。

3) 友の会とともに安心して暮らせるまちづくりの推進を

- ・コロナ禍の状況を踏まえながら。感染予防を徹底しつつ、健康づくり運動や地域訪問活動に積極的に取り組みました。またその取り組みを通じ、仲間増やし、担い手づくりをすすめ、元気誌読者を増やし、友の会の拡大強化を図りました。班会や支部での健康づくり活動の延べ参加者は延17,656名の地域参加がありました。(詳細は文末資料参照)
- ・自治体健診の受診とともに、何らかの理由で受けられなかった方々を対象とした「友の会健診」について方針に掲げましたが、着手できませんでした。友の会会員の検診受診状況をどのようにして把握してゆくか、そして患者や利用者の検診受診状況をどのように把握してゆくかが課題です。
- ・各事業所での事業所利用委員会などの定期開催を進めました。一部にまだ開催できていない事業所が残されており、法人からの援助を強めます。

4) 次代を担う職員の育成

- ・2021年度は、法人人事計画に沿って採用活動を進め、今春の新卒者の受け入れは、医師4名、看護師12名、准看護師1名、臨床検査技師2名、放射線技師2名、理学療法士2名、作業療法士1名、保育士1名、MSW2名、事務2名の計29名となりました。コロナにより同期の職員が集まりにくい状況が続いていますが、人事部および教育委員会の計画に沿って、育成を進めてゆきます。
- ・管理者養成講座を2021年度も開講し、6名が修了しました。

5) 労働環境の整備、労働条件の改善

- ・出退勤システム、2022年度中の全事業所稼働を目標に、準備を進めました。
- ・「労働条件のあり方、働き方の見直し」についての労使協議はできず、改めて2022年度に行います。石川勤医協の経営の特徴として、労働分配率の高さが挙げられます。事業活動で生み出す付加価値(=経常利益+人件費+支払利息)に占める人件費の割合を示す「労働分配率」は、石川勤医協は99.0%、富山医療生協94.2%、福井医療生協97.9% —

般病院平均は 97.8%、療養型病院平均は 91.2%です。そのことも率直に提示し理解を求めてゆきます。医療・介護福祉事業での経常利益の底上げとともに、年間休日数の見直しが必要です。

IV 医師の確保と養成

- ・ 2022年4月に4名の初期研修医を迎え入れました。(基幹型臨床研修3名、金沢大学の地域医療連携実践プログラム1名)。2023年度もフルマッチを目指すとともに、城北病院の新卒初期研修医師の定員の7名の回復を求める働きかけを継続します。
- ・ 医学生の奨学生は、1名が辞退し2022年4月時点では8名です(右表参照)。
- ・ 既卒の常勤医は、小児科医1名を迎え入れました(入職は2022年4月)。2022年度も2名の受け入れを目標に、引き続き既卒医師確保の取り組みを強めます。
- ・ 歯学部生の石川民医連奨学生は4年生1名、2年生1名です。(いずれも県外の大学)。奨学生の拡大とともに城北歯科での研修を可能にするための条件整備を進めてゆきます。
- ・ 医師の「働き方改革」は、勤務時間管理に留まらず、各職種力を引き出しながら、タスクシフト・シェアリング(医師業務の共同化、移管)を進めました。

医学生の石川民医連奨学生			
	金沢大	金医大	県外
6年			3
5年	1	1	
4年	2	1	
3年			
2年			
1年			

V 石川勤医協の経営困難の打開

- ・ 2020年1月末に、3年に一度の石川県厚生政策課による石川勤医協への「公益法人立入り検査」が行われました。この中で、県から改めて「債務超過の計画的解消」について指導がありました。
- ・ 債務超過の解消は、補助金頼みではなく、医療介護事業の「本業」で、経常利益を出し、資金を蓄積してゆく以外に方策はありません。それを中期計画の下に、継続して着実に進めてゆかねばなりません。患者増、利用者増の取り組みを抜本的に強化し、収益増と費用管理で利益を確保します。
- ・ 法人は債務超過の状況にありますが、事業所ごとに見ても、多くの事業所が債務超過かつ累積赤字を抱える状況にあります。各事業所で様々な増収に向けた取り組みと費用管理を進めました。
- ・ その上で、長期の赤字が固定化してる事業所の改善に向け、「おんぼら〜と」「健生クリニック」「上荒屋・ひだまり」で、経営改善策を柱にした中期構想を明確にするPJを法人に発足させるという方針を掲げました。「おんぼら〜と」ではビジョン会議をスタートさせ、2年計画で黒字化する計画を打ち出し、職員内の討議や労働組合への申し入れを始

めています。健生クリニックは、建て替え問題を契機に、現地が中心となり「中期計画」の議論が始まっています。「上荒屋・ひだまり」は未着手です。

- ・ 職員の県内外の法人・事業所への出向は、2022年3月時点で5名ですが、2022年5月からは計8名（移籍含めて）となります。
- ・ 業務改善を勧めながら職員総数の拡大の抑制をはかりました。この間の職員数の推移は右表のとおりです。60歳で定年を迎えた職員は、基本的に全員が65歳までの継続雇用を選択します。そのことと、新卒者の確保のバランスを図らねばなりません。

	常勤	非常勤
2020年3月	842	371
2021年3月	828	354
2022年3月	822	356
2022年4月	840	344

. **2021年度法人運営資料**

① 総会開催

2021年6月27日（日）開催。会員総数173名中、出席会員数146名（うち委任状112名）。コロナ感染防止のため積極的に委任状による出席を呼びかけた。

② 理事会開催（ ）は出席者数

- 5月22日 第1回理事会（理事24名 監事3名）コロナ対応
- 6月12日 第2回理事会（理事22名 監事3名）総会議案
- 6月27日 第3回理事会（理事24名 監事3名）理事長等の選出
- 7月24日 第4回理事会（理事23名 監事3名）経営改善
- 9月25日 第5回理事会（理事22名 監事3名）健生クリニック建て替え
- 10月23日 第6回理事会（理事22名 監事3名）上半期総括、協同基金新方針
- 12月25日 第7回理事会（理事22名 監事3名）予算編成方針
- 2月26日 第8回理事会（理事21名 監事3名）事業計画、予算1次案
- 3月26日 第9回理事会（理事24名 監事3名）事業計画、予算最終案

③ 石川県厚生政策課による定例立ち入り検査

2022年1月26日に実施。後日、「法人の運営組織及び事業活動は概ね良好」との結果通知書が交付された。

④ 監事による監査

- 期中監査 2021年11月 9日～12月 7日 本部と全事業所
- 期末監査 2022年 5月26日～ 5月27日 本部と全事業所

⑤ 法人会員の動態

【退会】 1名、 【入会】 6名、 【会員数】 176名（2022年3月末現在）

	奥能登	能登 中部	金沢北	金沢南	金沢西	南加賀	小松 南部	本部	計
地域	8	10	22	15	13	14	5	7	94
職員	4	4	27	8	8	13	2	16	82
計	12	14	49	23	21	27	7	23	176

⑥ 前回定時総会以降の法人会員の物故者

- ・2021年9月15日ご逝去 木村洋作さん

⑦ 2021年度の無料低額診療の動態

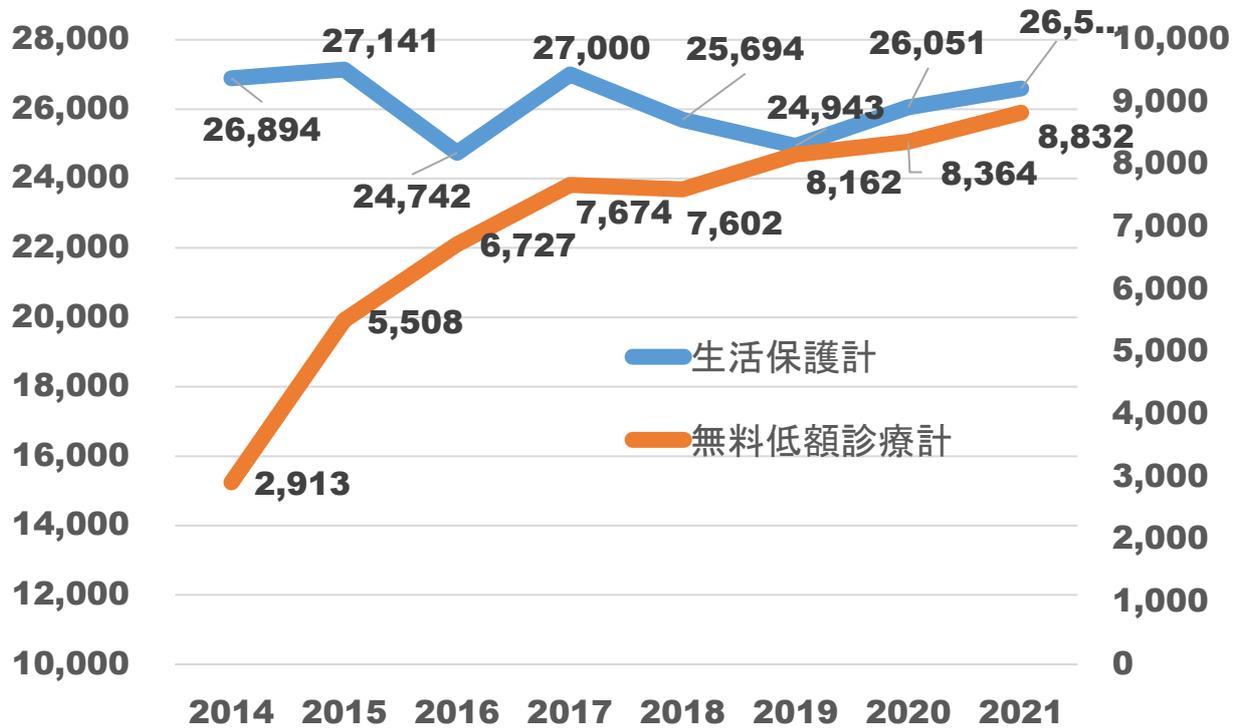
		城北病院	寺井病院	健生クリニック	城北診療所	城北クリニック	城北歯科	小松みなみ	手取の里	輪島診	羽咋診	上荒屋クリニック	計	前年差	
延利用者数	外来	生活保護	2,718	742	676	7,109	900	813	342		285	0	656	14,241	▲ 201
		無料低額診療	189	674	444	1,553	44	388	407		189	209	320	4,417	380
		計	2,907	1,416	1,120	8,662	944	1,201	749	0	474	209	976	18,658	179
	入院/入所	生活保護	11,288	1,066						0				12,354	745
		無料低額診療	472	772						3,171				4,415	88
		計	11,760	1,838	0	0	0	0	0	3,171	0	0	0	16,769	833
		(再掲)生活保護計	14,006	1,808	676	7,109	900	813	342	0	285	0	656	26,595	544
		(再掲)無料低額診療計	661	1,446	444	1,553	44	388	407	3,171	189	209	320	8,832	468
		合計	14,667	3,254	1,120	8,662	944	1,201	749	3,171	474	209	976	35,427	1012
		対総延患者比(%)	11.9%	8.8%	7.7%	9.7%	15.3%	8.7%	6.1%	19.6%	3.0%	2.8%	4.6%	9.93%	0.01%
	減免額(千円)	2,566	4,442	669	3,904	68	840	1,443	4,005	782	605	2,861	22,185	590	

手取の里で路用件数が多いのは、食費や日常生活費も減免しているため

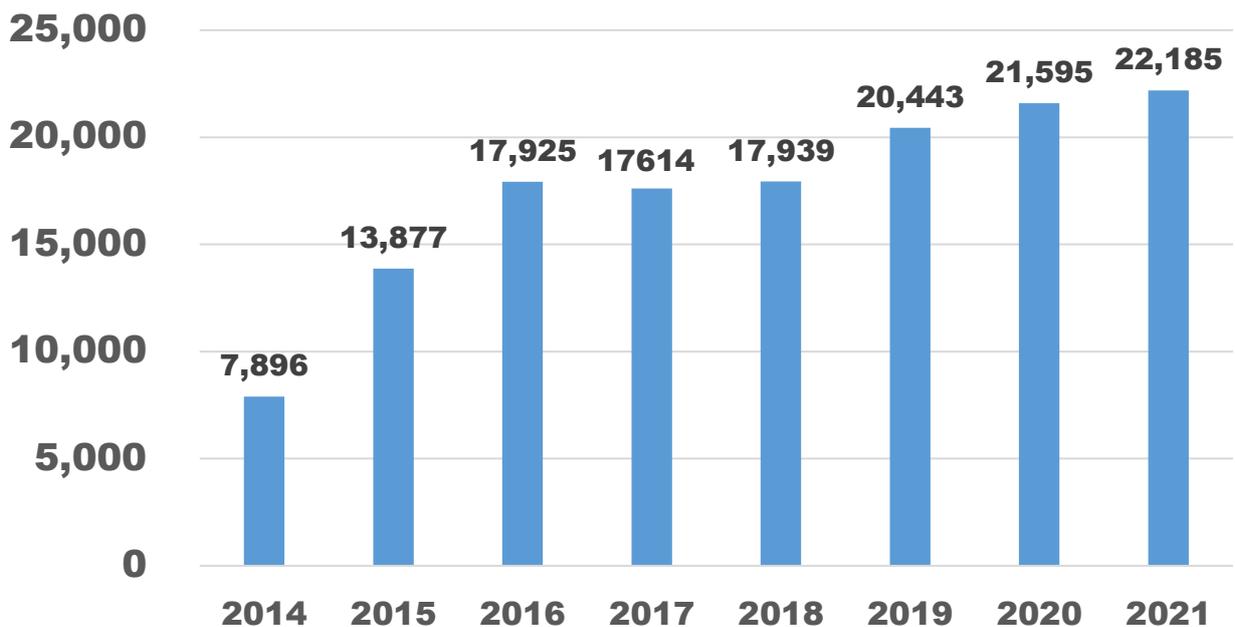
【参考】2013年度以降の無料低額診療の利用件数と現満額の推移

		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
延利用者数	外来	生活保護		14,342	15,135	15,173	14,544	14,132	14,838	14,442	14,241
		無料低額診療		1,250	1,958	2,361	2,996	2,890	3,721	4,037	4,417
		計		15,592	17,093	17,534	17,540	17,022	18,559	18,479	18,658
	入院/入所	生活保護		12,552	12,006	9,569	12,456	11,562	10,105	11,609	12,354
		無料低額診療		1,663	3,550	4,366	4,678	4,712	4,441	4,327	4,415
		計		14,215	15,556	13,935	17,134	16,274	14,546	15,936	16,769
		(再掲)生活保護計		26,894	27,141	24,742	27,000	25,694	24,943	26,051	26,595
		(再掲)無料低額診療計		2,913	5,508	6,727	7,674	7,602	8,162	8,364	8,832
		合計		29,807	32,649	31,469	34,674	33,296	33,105	34,415	35,427
		対総延患者比(%)		9.9%	10.1%	8.7%	10.1%	10.3%	9.0%	9.9%	9.9%
	減免額(千円)		7,896	13,877	17,925	17,614	17,939	20,443	21,595	22,185	
			11月城北診		6月手取の里	10月小松		11月輪島	5月羽咋		
			11月城北外					10月上荒屋			
			11月城北歯科								

【無料定額診療事業の利用者数の推移】



【無料定額診療の減免金額の推移（単位：千円）】



⑧ 2021年度の友の会活動の動態

	奥能登	能登中部	金沢北	金沢南	西	金沢東	南加賀	県連/県外	合計	前年差
入会数	87	67	243	176	226	58	155	9	1,021	▲ 790
退会数	211	462	561	381	254	97	337	33	2,336	562
実増減	▲ 124	▲ 395	▲ 318	▲ 205	▲ 28	▲ 39	▲ 182	▲ 24	▲ 1,315	▲ 1,352
現勢	6,300	5,446	13,247	6,663	7,550	2,183	8,342	577	50,308	▲ 1,329
現世帯数	2,867	2,911	6,182	2,931	3,715	958	4,101	366	24,031	▲ 278
新支部結成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支部現勢	4	7	10	6	4	0	8	0	39	0
班現勢数	21	24	49	40	19	2	37		192	▲ 1
班会等開催累計	266	282	395	599	277	9	492		2,320	368
地域参加累計	1,420	3,720	3,466	5,120	3,187	18	725		17,656	4,203
班会職員参加数	0	168	454	367	182	2	22		1,195	47
健康チェック実施回数	1	2	0	4	3	0	0		10	4
健康チャレンジ参加者数	3343									▲ 113
元気誌現勢数	219	223	650	340	225	63	240	31	1,991	▲ 81
元気誌増減(対前年比)	▲ 5	0	▲ 31	5	▲ 10	▲ 4	▲ 22	▲ 3	▲ 81	
取扱所増減	0	0	▲ 1	0	0	0	0	0	▲ 1	3
現取扱所数	4	8	37	21	6	1	15	1	93	▲ 1
退会の内訳	退会理由		数	%						
	転居等で住所不明		1,087	46.5%						
	死亡		688	29.5%						
	退会申し出		229	9.8%						
	不明		332	14.2%						
	計		2,336	100.0%						